

教科名	理科	科目名	化学基礎
履修区分	単位数	レポート添削回数	
選択必修	2	6	
教科書		学習書・副教材等	
改訂 新編化学基礎(東京書籍)【314】		なし	
学 習 目 標			
物質やその変化についての学習をとおして、化学と日常生活や社会との関わり、および、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、化学的に探求する能力や態度、科学的な見方や考え方を養う。			
学 習 内 容			
【前期試験範囲】		【後期試験範囲】	
1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 (第1回レポート) 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素 3節 物質の三態 2章 原子の構造と元素の周期表 (第2回レポート) 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表 3章 化学結合 (第3回レポート) 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合 4節 化学結合と物質の分類		2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 (第4回レポート) 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質量 3節 溶液の濃度 4節 化学反応式とその量的関係 2章 酸と塩基 (第5回レポート) 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH 3節 中和反応と塩 4節 中和滴定 3章 酸化還元反応 (第6回レポート) 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤 3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用	
学 習 方 法			
通学コース		通信教育コース	
・レポートについて 年間6回のレポートを作成し、中間試験範囲で1回目の提出、単位認定試験で2回目の提出をしてください。 レポートは、教科書の内容を中心に作ってあります。 期限内に提出できるように、計画的に学習をしてください。わからないところは、授業終了後や放課後を利用して質問してください。		・レポートについて 6回分のレポートを作成してください。レポートは、教科書の内容を中心に作ってあります。それぞれの学習計画に沿って提出できるように、計画的に学習を進めてください。分からないところは学習センターへ問い合わせたり、学習会を利用して質問してください。再提出となった場合でも諦めずに学習に取り組んでください。最終締め切りは必ず守りましょう。 ・スクーリングについて 教科書やレポートの内容について、特に重要なところやわかりにくいところを解説して理解を深めるとともに、単位認定試験の対策をします。決められたスクーリング回数(4回)に必ず出席してください。	
評 価 方 法			
通学コース		通信教育コース	
レポートの提出と評価、授業態度、中間試験・単位認定試験の成績を総合的に判断して評価します。		レポートの提出状況と評価、単位認定試験の成績を総合的に判断して評価します。	